

第8回大田区移動等円滑化推進協議会

議 事 概 要

日 時：平成25年2月13日（月）9：30～11：30

場 所：大田産業プラザ 3階特別会議室

出席者：末尾に記載

次 第：

開会

議事

事務局より報告

大田区移動等円滑化推進協議会設置要綱の改正について

- 1 （仮称）おおもり街なか“すいすい”プラン（素案）について
- 2 かまた街なか“すいすい”プランの特定事業計画について
- 3 点検整備地区（平和島駅周辺地区）の取り組みについて
- 4 その他

質疑

事務連絡等

閉会

資 料：

- ・ 次第
- ・ 座席表
- ・ 資料1-1 大田区移動等円滑化推進協議会設置要綱 改正概要
- ・ 資料1-2 大田区移動等円滑化推進協議会設置要綱 新旧対照表
- ・ 資料2 （仮称）おおもり街なか“すいすい”プラン パブリックコメント及び説明会 ご意見一覧
- ・ 資料3 （仮称）おおもり街なか“すいすい”プラン（案）
- ・ 資料4 おおもり街なか“すいすい”プラン 概要版
- ・ 資料5 蒲田駅周辺地区バリアフリー特定事業計画
- ・ 資料6 点検整備地区（モデル地区）の検証について

主な質疑応答

1. (仮称)おおもり街なか“すいすい”プラン(素案)について

- 鳴嶋委員 : 大森の医師会からの意見が無いように感じる。災害を想定した場合、医師が持つ障がい者に関する情報が役に立つのではないか。現役の医師は平日の会議への参加は難しいので、OBの医師を協議会メンバーに加えることを検討してはいかがか。
- 事務局 : 本プランは日常利用する道路や施設を対象としている。施設には病院も対象としてプランを作成しているが、医師会や医者については視野に入れていなかった。現協議会における委員の任期が今年度の3月までとなっているので、新年度になり新たに委員を選定する際には医師会も対象団体の一つとして検討していきたい。
- 高橋委員長 : 「5 今後の推進に向けて」中の「(4)区民との協働」に町内会や商店会などの組織と十分な連携を図るとあるが、これまでに打合せや事前の説明はどの程度行われているのか。
- 事務局 : プランを作成する過程では、町会、自治会、商店会の代表の方々の協力をえて区民部会に参加していただいた。また、大森には町会、自治会、商店会の方々に組織するまちづくり協議会が東口と山王口にあり、その代表のメンバーの方々にはまち歩きにも参加していただき、プランを検討している。
今後、プランを実施する際には地元との話し合いの場を設けてほしいとの意見もあるので、事業の実施については地域と協働で進めていきたいと考えている。
- 宮澤副委員長 : 15 ページ「4-3 今後検討が必要な事項」については、いつまでに検討し実施にうつるのか。
- 事務局 : 10 ページ「4-1 検討の流れ」のなかで、平成 32 年度までに実現が可能な事業を「特定事業」に位置づけ、実施時期が明示できない事業を「今後検討が必要な事項」として位置づけている。この計画の目標期限内で検討して実施できるものは実施してもらいたい。
- 高橋委員長 : 委員の方々が対外的に説明できるように、開示できる範囲内でかまわないので、そのあたりの事業を資料として添付することを検討してほしい。
- 事務局 : 個別の施設についての事情を説明することは難しい。「今後検討が必要な事項」について更に詳しく説明を加えることを検討する。
- 菅原委員 : 20 ページ「(1)利用者意見の反映」中に、「おおたユニバーサルデザインのまちづくりパートナー(UDパートナー)」制度等も活用し、とあるが、もう少し具体的な記述があればよいと思う。まだ検討の段階であれば、どのような取り組みを考えているのか伺いたい。
- 事務局 : 今後、大森地区の事業を実施していくにあたり、区民部会の他にUDパートナーが協力していければよいと考えている。現段階ではUDパートナー事業との調整ができていないので、そこまでプランに記述できない状況である。お互い調整しあい、良い方法を見つけながら進めていきたい

いと考えている。

高橋委員長 : 一つの方法として、19 ページにあるチェックシートについて、事業者のみならず、区民にも活用できるチェックシートを任意に配付して、意見を回収する方策もあるのではないかと考えています。是非、検討をお願いしたい。

江守副委員長 : PDCAサイクルとして、計画を立てて、それを実施し、チェックを行い、それをどのように反映していくかが重要である。19 ページにあるチェックシートについて、協議会で確認していくと説明されたかと思うが、もう少し具体的なイメージを伺いたい。

事務局 : 18 ページ「(2)進捗管理及び評価」には、「特定事業等の着実な推進を図るため、大田区移動等円滑化推進協議会を継承した推進組織を設置します。」と記述している。そこで、本協議会の要綱を改定し、4月以降はこの協議会で進捗管理を行いたいと考えている。実際の運営は事務局が行うことになるかと思うが、チェックシートの活用等具体的な進め方については事務局で検討し、次回の協議会には報告したいと考えている。

高橋委員長 : 本プラン(素案)については、承認を得たということで進めていきたい。本日いただいた事務局への要望等については、委員長及び事務局で調整を行い、プランとしてまとめていくことで了承いただきたい。

<一同了承>

閉 会

第8回 大田区移動等円滑化推進協議会 出欠状況

氏名	所属・現職	出欠（出席：○）
高橋 儀平	東洋大学 ライフデザイン学部 学部長	○
菅原 麻衣子	東洋大学 ライフデザイン学部 准教授	○
江守 央	日本大学 理工学部 助教	○
宮澤 勇	NPO 法人 大身連 理事長	○
岩本 安起	大田区肢体障害者福祉協会 理事	○
高山 千鶴子	大田区視力障害者福祉協会 会長	○
竹内 千代江	大田区聴覚障害者協会 副会長	代：音堅氏
佐々木 桃子	大田区知的障害者育成会 会長	○
君島 文雄	大田区精神障害者家族連絡会 代表	×
嶋田 実	大田区老人クラブ連合会 会長	○
鳴嶋 享郎	大田区自治会連合会 会長	○
遠藤 孝一	大田区商店街連合会 会長	○
高橋 秀昭	ひとにやさしいまちづくりを進める大田区民の会 副会長	○
高橋 健	東日本旅客鉄道株式会社 東京支社 総務部企画室副課長	代：加藤氏
織茂 宏彰	東京急行電鉄株式会社 鉄道事業本部 事業統括部事業推進課長	代：佐藤氏
島村 昭一	京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 計画営業部計画課長	代：斉藤氏
堀切 弘行	東京モノレール株式会社 総務部 課長	○
安田 智	東京都 交通局 総務部 技術調整担当課長	代：高山氏
依田 修	東急バス株式会社 営業部 運輸課長	代：石氏
清野 尚	京浜急行バス株式会社 総務部 部長	○
上田 誠	国土交通省 東京国道事務所 交通対策課長	代：中村氏
吉野 茂	東京都 第二建設事務所 管理課長	○
根本 敦	大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課長	代：渡部氏
小沼 進一	警視庁 蒲田警察署 交通課長	代：門向氏
松本 均	警視庁 田園調布警察署 交通課長	×
眞島 信彦	警視庁 池上警察署 交通課長	代：間島氏
磯部 守男	警視庁 大森警察署 交通課長	代：福重氏
中村 勝一	大田区 経営管理部 施設管理課長	○
中山 順博	大田区 教育総務部 施設担当課長	○
池田 敏之	国土交通省 関東運輸局 交通環境部 消費者行政・情報課長	代：小川氏
花井 徹夫	東京都 都市整備局 都市基盤部 交通企画課長	×
今井 健太郎	大田区 経営管理部 経営担当課長	代：石川氏
町田 達彦	大田区 産業経済部 産業振興課長	×
青木 毅	大田区 産業経済部 観光課長	○
森部 一夫	大田区 福祉部 福祉管理課長	代：立花氏
太田 誠一	大田区 まちづくり推進部 まちづくり推進部長	○
荒井 昭二	大田区 まちづくり推進部 まちづくり管理課長	○
吉田 春彦	大田区 まちづくり推進部 交通企画担当課長	○
齋藤 浩一	大田区 まちづくり推進部 都市開発課長	○

事務局：まちづくり推進部 まちづくり管理課

福祉部 福祉管理課

傍聴者：1名